

《担当者名》 歯学部教授 / 高橋 伸彦 [ntkhs@hoku-iryo-u.ac.jp]  
臨床検査部臨床検査技師長 / 内藤 澄悦  
臨床検査部技師 / 吉田 美香

**【概要】**

本実習の目的は、講義で学んだ臨床検査法の内容を実習によって理解を深めることである。実際には実習時間、検査室や臨床検査技師の体制などからこまかな実習は実施できないため、DVD供覧による学習および見学により検査法の実際を学ぶこととする。

教科書の内容と照合し、確実に把握して欲しい。

**【学修目標】**

DVDを供覧し、その内容を教科書と照合して十分に理解する。

**【学修内容】**

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	血液検査 血液型検査 尿検査 免疫血清検査、生化学検査など	DVD学習により検査内容を認識する。 血球計数の見学 ABO型およびRh型検査の見学 DVD学習による検査内容の認識 尿一般定性試験の見学 DVD学習	高橋 伸彦 内藤 澄悦 吉田 美香

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

質問の応答、受講態度等で総合的に判定する。

**【教科書】**

「歯科衛生学シリーズ 臨床検査」 医歯薬出版株式会社 2023年

**【参考書】**

「今日の臨床検査2023-2024」 矢富裕/山田俊幸、南江堂 2023年

「異常値の出るメカニズム 第8版」 山田 俊幸 ほか 編集 医学書院 2024年

**【学修の準備】**

予習：実習内容を理解したうえで、実習に臨むこと（60分）。

復習：実習で学んだ事柄について復習する（60分）。

**【実務経験】**

高橋 伸彦（医師）、内藤 澄悦（臨床検査技師）、吉田 美香（臨床検査技師）

**【実務経験を活かした教育内容】**

臨床検査技師や医師としての実務経験をもとに、臨床検査の実際について教育する。